

「人は高いところが好き」

先日のNHK番組「チョコちゃんに叱られる」で、「なぜ人は展望台にのぼりたがる？」という問題があった。答えは「いいことがあると遺伝子が記憶しているからだそう。単に見晴らしがいいからという理由ではない。この場合の「いいこと」とは獲物を見つけやすくなるから。狩猟時代に経験したものがベースになっていて、狩りをするためにはまず獲物を見つけるのが先決で、高い所に登ると獲物を見つけやすくなるからだ。また、逆に肉食動物から身を守ることにもつながる。つまり高い所というのは生きていくために有利な場所なのだ。

人間は他の動物に比べて、運動能力が優れているわけではない。はるかに馬やゾウ、ライオンなどの方が速く走る。そのため獲物を得ようとする狩りは、獲物の足跡などを辿ってひたすら追いかけて、スタミナ切れを起こした獲物をじっくりと狩るという手法だった。要するに獲物を見つけることが何よりも大事で、その場で獲物に逃げられたとしても、執念深く追い続けられる人間にとっては、後はどうにでもなる。実際、人間が他の動物に比べて運動能力面で最も秀でていたのは長距離を延々と歩く能力だそうで、スピード勝負ではなくスタミナ勝負で狩りを行っていくには必要な能力だった。

でも、狩猟民族だったのは千年、二千年も前のことで、今やそんな能力は必要ないと思える。しかし、人類の歴史から見れば、それは少しの時間にしか過ぎず、それまでに遺伝子に刷り込まれたものは消えない。展望台にのぼるのも、木に登るのも、もしかすると高い山に登るのも、その遺伝子から来ているもので、人間にとっては自然な感覚なのだ。ちなみに、これも以前のチョコちゃん情報で、「人間は楽しい記憶は忘れても、危険な記憶はいつまでも残っている。そして、その時の時間はいつもよりもゆっくりだ」という。人間が生命体として生き延びていくために、二度と危険な状況に追い込まれないために、危険な記憶は脳にしっかり刻まれる。同じ失敗を繰り返す人は、それが命に関わることとっていないからかもしれない。

1月18日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 12の倍数で、13で割ると1余る正の整数を考えます。

- ①その条件を満たす数で、最も小さい数はいくつですか。
- ②その条件を満たす数で、3桁の数で最も大きい数はいくつですか。